

パースでの 3 週間

1. パースでの生活

パースに着いて、まず感じたことは 2 月なのに暑い、ということだ。当然といえば当然なのだが日本を出発する時は厚着をしていたので、上着を脱いだ程度では暑さを凌げず、ホームステイ先に着くころには汗だくであった。ただ、夜は涼しくなることも多く、窓を開けて薄着で寝ていた時は風邪をひきかけた。そしてパースは物価がとても高い。どうやらパースは現在鉱山バブルのおかげで物価が高くなっているらしい。500ml の水が 3 ドル(1 ドル=90~100 円程度)くらいの値段であった。食料品だけでなく、衣類や生活用品なども高いものが多いので、事前に必要だとわかっているものは日本で買っていくことをお勧めする。パースは日差しがとても強いので帽子、日焼け止めクリーム、サングラスは必需品である。意外なところで、シャンプーやリンスなども小分けボトルに入れるなどして日本から持って行った方が良いと感じた。向こうのシャンプーは値段が高く、質も悪い。

パースは治安が良いと言われているが、日本の方が断然安全だと感じた。通学に使ったバスは運転席が金網で囲まれており、スーパーなども万引きにかなり警戒しているように感じた。自分自身実際にスーパーで買い物をしてレジから出たときにトートバックの中身を確認されたことがあった。

交通の便に関してはあまり良いとは言えない。一本バスを逃すと、30,40 分くらい次のバスが来ないということが普通なので、通学になれてない最初の頃は学校に遅刻することが多々あった。更に最終バスの時間が早く、土日の最終は夜の 7 時頃であった。向こうで暮らすのであれば車は必要不可欠である。

2. 英語研修プログラムに関して

ELICOS の授業に関してはとてもいい経験になった。いろんな国の、いろんな年齢層の人たちと一緒に授業を受けたのだが、中には 30 代後半くらいの女性もいた。外人の方たちはとにかく積極的に発言する。授業を受ける必要があるのかというくらい流暢な英語をしゃべる人もいた。その点日本の生徒たちは、スピーキング力とリスニング力が足りないと感じた。しかし、文法に関しては日本人の方が得意だったように思う。自分はパースに来る直前に英会話教室に通うなどしてある程度予習はしてきたのだから、それでも先生の話す英語は部分的にしか聞き取れなかった。もっと徹底的に英語を勉強してから行くべきだったと少し反省している。

英語研修プログラムには遠足も 4 つほど組まれていた。しかし、自分が満足できたのは土曜日に行われたロットネス島への遠足だけであった。他の 3 つに関しては平日の午前の授業が終わった後に組まれているものであり、時間が限られていてゆっくりできないのと、美術館への遠足など興味が沸かないものが多かった。午後の授業を潰してまで行くものではないと感じた。

3. ホストファミリーとのこと

今回の研修でホストファミリーとの関係で苦労した人も多いようだが、自分のホストファミリーはとても親切だった。フィリピン人の家庭で夫婦とおばあちゃんの3人住まいであり、料理も美味しく本当に良くしてもらった。敬虔なクリスチャンの家庭であり毎週日曜日には教会に連れて行ってもらった。そこでフィリピン人のクリスチャンの集まりのようなものがあり、たくさんの人と交流した。中には日本で働いたことがあるという人がおり、その人とは日本語で話して仲良くなった。フィリピン人の子供たちとも仲良くなったが、彼らはドラゴンボールやナルトなどの日本の漫画が大好きだった。

たくさんの現地のフィリピン人と接してみて一番印象的だったのは人とのつながりが強いということだ。誰かの誕生日があるごとに皆で集まって祝福をしていた。ステイ先のおばあちゃんがフィリピンへ帰る前日の夜にもたくさんの人が集まってお別れ会をしていた。僕たちが日本に帰る前に最後に行った教会の日には皆で僕の無事の帰国とこれからの幸せを祈ってくれた。

ホストファミリーとの生活を通して、人と人との繋がりや助け合いの精神の大切さを学んだ。

4. 研修を通して

3週間という短い期間だったこともあり、今回の英語研修では大きな英語力の向上は得られなかったが、いろんな人と出会えたことは本当にいい経験になった。授業で出会った外国人や、ホストファミリーとその仲間たちとは今でもフェイスブックでつながっている。

パースに着いた日に、ホストファミリーのお母さんが友達の家で歓迎会をやってくれたのだが、その時に女性どうしてワイワイ騒いでいる光景が、正月などに自分の母親とその親戚どうして騒いでいる光景と本当に似ていた、というか、同じだった。その時に、住んでいる地域や生まれた国は違えども、皆何も変わらないのだと痛感した。自分の中の価値観が変わる大きな出来事だった。

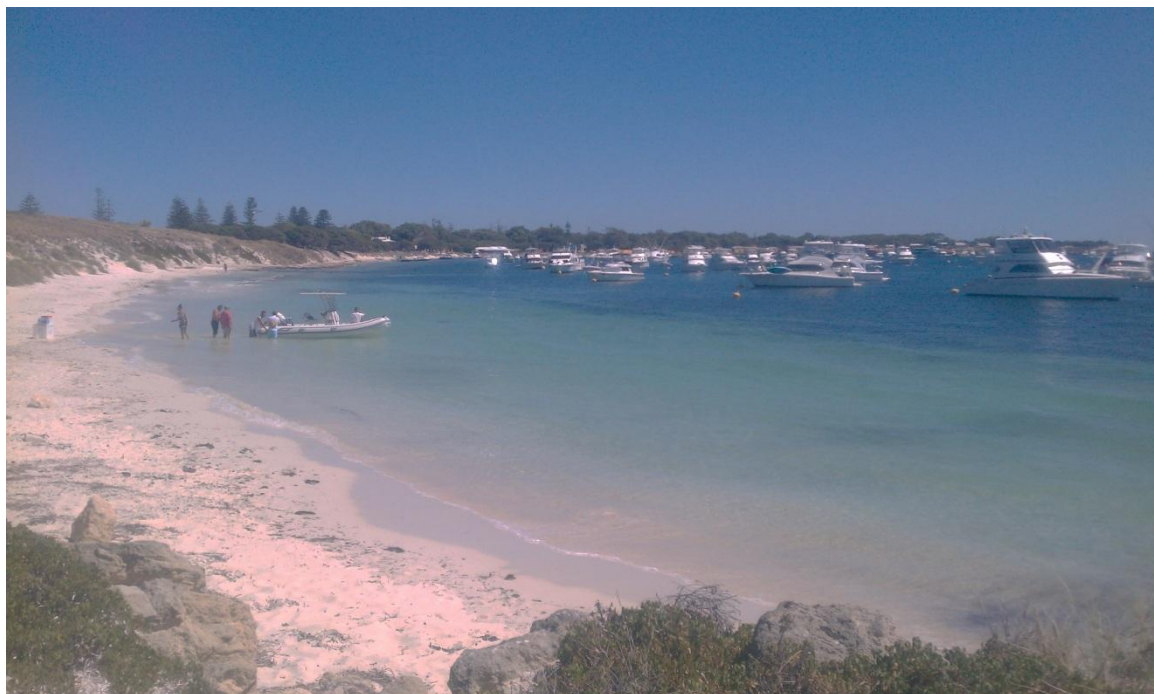


図1：ロットネス島

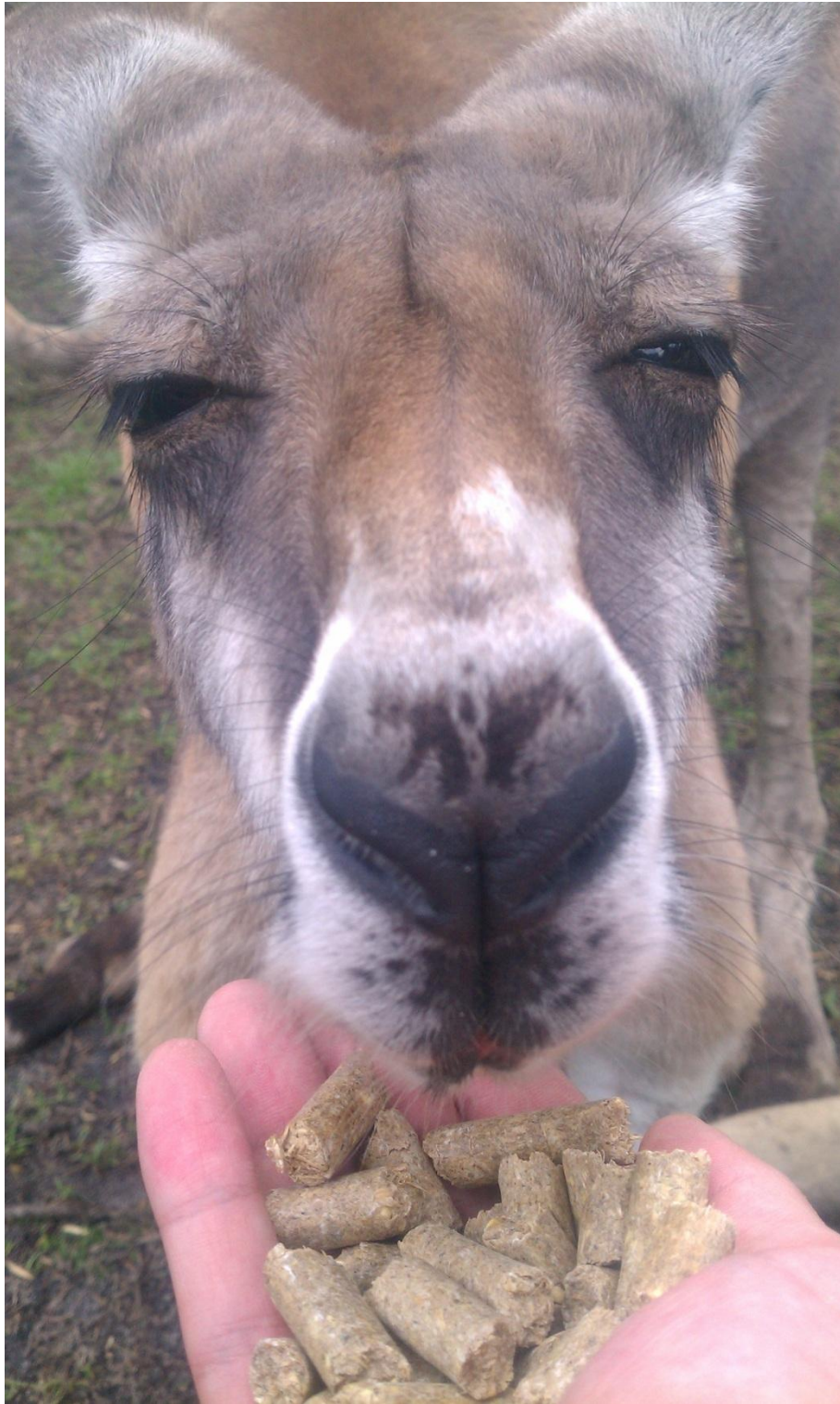


図 2 : ワイルドライフパークでのカンガルー



図 3 : キングスパークからの眺め

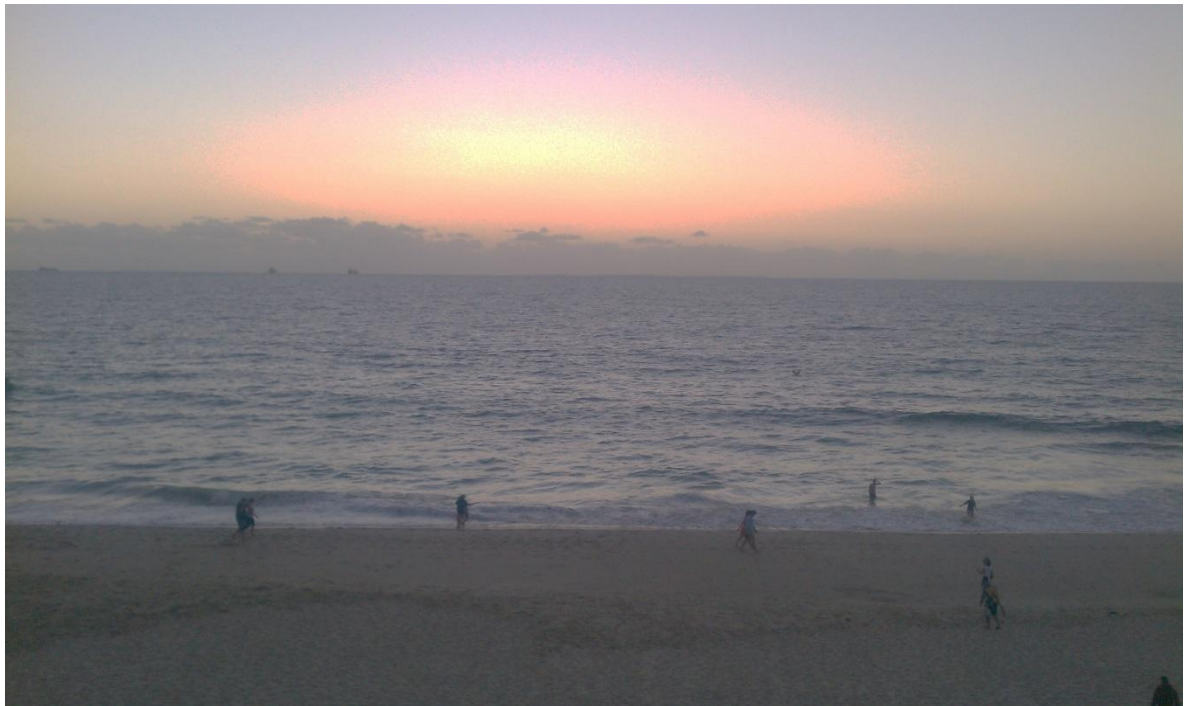


図 4 : コテスロビーチ